１－①　愛すべき わが町

■対象：地域住民　■人数：20 人　■時間：80 分程度　■手法：ラベルワーク

学習のねらい　わが町のよさを考えて出し合うことで、よさを見つめ、愛着を深めることができる。

時間	学習の流れ	留　意　点	準　備　物
	【はじめに】 今日は、この町を住みよい町にしていくために、自分たちで何ができそうか考えていきます。 その前に少し心と体をほぐしましょう。		
20分	【アイスブレイク】 ① 漢字探し この図の中に隠れた漢字を見つける ② 自己紹介	・まずは個人で、次は、４人グループにする。 ・個人よりグループで考える方が多く見つけることができることを体感し、この後のワークのねらいにつなげる。 ・「所属（地名）」「名前」「地域の好きなところ」等の自己紹介。	A4用紙 サインペン
50分	《 はじめにルールとマナーを確認しましょう 》 【中心のワーク】 ① 地域の現状について「よいところ」をピンク色の付箋に、「問題点・困っているところ」を青色の付箋に書く　[3分] ② 簡単に説明を加えながら付箋を模造紙のそれぞれの項目の場所にはりながら話し合う　[14分] ③ 「めざす地域」を緑色の付箋に書く　[3分] ④ 付箋を紹介し、はりながら話し合う　[10分] ⑤ 「そのために必要なこと」（課題）を黄色の付箋に書く　[5分] ⑥ 付箋を紹介し、はりながら話し合う　[15分]	・ねらいとワークの流れを確認する。 ・自分が感じていること以外に、人から言われたことがあることを加えてもよいことを伝える。 ← 模造紙 ・似た内容は近くにはり分類・整理するよう伝える。 ・「めざす地域」は、「３年後」「５年後」「10年後」などと、決めてもよい。 ・「そのために必要なこと」（課題）は、実現性で考えるのではなく、自由な発想で考えてもらう。	ホワイトボード 付箋（ピンク・青） 模造紙（項目を書いたもの）P37参照 付箋（緑・黄）
10分	【ふり返りと分かち合い】 ① 「自分が（自分たちで）やってみたいこと」をワークシートに書く ② グループで発表し合う	・②で全体に広げたいことは、積極的に取り上げる。	ワークシート P38参照 色マーカー
	【おわりに】 いかがでしたか。地域には、問題点や困っていることもあるとは思いますが、やってみたいことを考えることで、めざす地域像に一歩近づけそうな気持ちになれたのではないでしょうか。まずは、できることから取り組んでいきたいですね。		

1－①「愛すべき　わが町」模造紙項目イメージシート

【よさ】

地域の現状

【困っていること・問題点】

めざす地域に近づくために必要なこと

めざす地域像【○年後、こんな地域になっていたらいいな　】

１－①　「愛すべき　わが町」ふり返りワークシート

住みよいまちをみんなでつくろう

自分が（自分たちで）やってみたいことを書きましょう。